

1. 件名：志賀原子力発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する  
面談

2. 日時：令和5年7月20日（木）16時00分～17時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、  
原田安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社 土木建築部

藤田執行役員 他6名※

同 東京支社

1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・地質構造】

7. 既提出資料（令和5年7月4日受領）

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・構造について 敷地周辺（海域）  
の断層の評価（コメント回答）

URL：[志賀原子力発電所 事業者とのヒアリング概要・資料 2023年4-7月 | 原子力規制委員会 \(nra.go.jp\)](https://www.nra.go.jp/press/2023/07/20230720_01.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	いたします。
0:00:05	はい、原子力規制庁の大井です。
0:00:07	それではですね北陸電力との面談を開始したいと思います。
0:00:13	本日は、日
0:00:16	先週金曜日のですね第 1168 回審査会后、
0:00:20	のラップアップとして資料は 1 点、コメントリストコメント一覧ということで、
0:00:27	いただいております。
0:00:29	で、本日はこの資料、まずはそのコメン等の趣旨に、
0:00:34	とですね、
0:00:36	我々の、
0:00:38	出資等事業者の考えっていうのがの相互理解というかそういうことで行います。江藤これも受け取ってます。受け取って皆さん読んでこちら読んでますので、
0:00:49	早速説明は不要でございます。早速私の方から、
0:00:56	ナンバー1 から 6 についてですねちょっと確認させていただきます。
0:01:03	フクダまずナンバー1 は福浦断層についての
0:01:08	コメントでして、フクダ断層南部で確認された。
0:01:12	フクダ断層に対応しない断層について震源として考慮する活断層でない判断した根拠を資料に追記することと、
0:01:20	ということでこれについては良い、良いかなと。
0:01:23	私は思います。要するにこれは
0:01:29	ルートマップFとかで、①から④とかそういう断層が見つかったんですけど、事業者の言葉で言うと対応しないその他の断層ということで、小規模な断層ということで、
0:01:40	それが
0:01:43	それに対するコメントということですよ。
0:01:46	こちらそういう理解ですけど、
0:01:50	その通り記載されているということで、米、事業者からも
0:01:54	追加コメントは必要ないと思いますが、
0:01:57	審査側からこれこれに対しては何かございますか。
0:02:03	事業者の方もこういう理解ということで、
0:02:06	よろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:11	はい。北陸電力の野原です。お医者さんがおっしゃる趣旨でこちらもそのつもりで記載しておりますので、この通り、資料に反映していきたいと思います。以上です。
0:02:21	はい。よろしくお願いいたします。
0:02:26	規制庁の野田ですけど、
0:02:30	私が記憶してる限りでは、ルートマップ、平面的なところはルートマップで見て、あとは、野原さんから審査会合の中では、反射法地震探査、
0:02:44	の話も出ていて、多分これは断層の深部、
0:02:51	連続性というか、深部にかな、断層がないってということも含めて私の理解ではそういう平面的なものもそうですし、深部を見てもないということ
0:03:01	で、
0:03:01	ルートマップだけでなく反射法地震探査の結果も含めてご説明。
0:03:07	いただいたとか、地域、そういった結果も追記されるんじゃないかと理解しているんですけど、そこは野原さん。
0:03:16	違いますかね。
0:03:18	はい。北陸電力の野原です。反射法につきましても、例えばそのルートマップに引っかけられない断層につきましても、その反射法を平面的な扱いとして使う場面もあります。
0:03:33	柱につきましても地下深部まで見えておりますので、共通して、シンボ方向の、
0:03:41	今ないということに合わせて使いたいと思いますので、反射深部だけではなくて、水平のところも扱う断層、
0:03:50	は出てきます。
0:03:52	以上です。
0:03:54	野田ですけど野原さんの補足説明ありがとうございました。そうするとあれですかね整理すると、その団地断層の延長方向のルートマップや反射法地震探査で、平面的なものであるとか、あとは反射法の方は、
0:04:09	深部に断層がないことも確認していると、いうことを審査会合でご説明いただいたのでそういったことが、データであったり、記載が追加されるということよろしいでしょうか。
0:04:24	はい。北陸電力の布田です。問そういった趣旨で資料の方を記載していきたいと思います。以上です。
0:04:31	野田ですけどありがとうございます。はい。私それであれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	審査会合のやりとりでありますとか、あとはそれ、それを踏まえた資料の記載の充実ですかね。理解できましたんではい。私からは特に、それ以上ありません。以上です。
0:04:54	規制庁の大井です。それでは続きまして断層に係るコメントが四つあります。No.2 からNo.5 ということで、まずナンバー2 についてこちら薄片の検討結果に対するコメントでございます。
0:05:09	S5.5 通’ の伴家の方ですね派遣丸一の反映については、主たる根拠となることが確認できた。
0:05:19	ただし、派遣内の空隙が、活動性評価に影響がないことの資料の適正化を行うことと、
0:05:26	まずこの点ですけど、
0:05:28	これ、書いてる内容は、
0:05:31	私としてはいいかなと思っはいるんですが、実際にどういことをされるのかっていうことについてですけど、審査会合の中で、実際に
0:05:41	顕微鏡下で見せていただいた説明ですね、それ、例えば
0:05:46	ウエキがある部分について反映の
0:05:50	もう少しちょっと。
0:05:51	矢萩さんは県を少し下の方に移していただいくついでる部分から、
0:05:57	空隙があるところにかけて連続して観察されましたけど、それで最新面がですね、
0:06:06	ちゃんと
0:06:09	それ、連続認定が最新面の認定の根拠が
0:06:13	適正であるということをきちんと根拠を持って説明していただきたいということの趣旨でしたけど、
0:06:22	言い換えると空隙が影響がないことっていうことにはなるんですが、そういうふうな認識。
0:06:29	よろしいでしょうか。
0:06:34	はい。
0:06:34	北陸電力の木村です。そうです今ほど大井さんおっしゃった通り、空隙、
0:06:43	はありますけども、その左側の端っこの面が直線的連続的な面として、
0:06:54	連続して追跡できますので、その
0:06:57	最新面の認定は、しっかり
0:07:00	できるということの説明を、
0:07:05	薄片の中で、説明を追記。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:09	するようにしたいと思っております。以上です。
0:07:15	規制庁の大井です。それであればこちらの趣旨としては事業者が認定している最新面ですね、それが空隙があったとしてもそこだところであるということの根拠だったり、もしくはその
0:07:30	空隙があったとしても不連続部をちゃんと通るといようなそういうことの
0:07:36	根拠をきちんとこれは事業審査会合でも説明いただきましたけど、それを
0:07:43	入れていただきたいというふうに思ってること。
0:07:47	もう1点建マ変の写真でも多分そういうことは説明できると思うので、そういう点についても資料の適正化っていうことに含まれると思いますがそれもよろしかったですでしょう。
0:08:05	小栗です。
0:08:08	雰囲気があったとしても最新分がしっかりと向こう物がオオバをしているということが確認できるということをしっかり記載するということと、あと県がへん。
0:08:21	審査会のときに、ご意見いただいた件編についても、
0:08:28	データとして、CSCして、直線的連続的な面がしっかり連続しているということをしっかり確認できるように、資料に追加したいと思います。以上です。
0:08:43	はい。その認識ですと私の認識と同じです。
0:08:50	それでいいと思います。
0:08:53	もう1点は、範囲Bと、薄片③と④については活動性を評価することができないデータとしてと位置づけることということで、これは
0:09:04	次、審査会合で述べた通りですけど、
0:09:09	1点、これ、
0:09:11	えっとですね、事業者の
0:09:13	前回の市現地調査において、
0:09:17	これをS7コウノ派遣②っていうのもあったと思うんですけど、これは前回の資料の中では整合するデータというふうに、主たる根拠と整合するデータというふうに、
0:09:28	続けてありましたが、派遣②も含めて、この活動性を評価することができないデータとして位置づけることっていうふうな認識でございますが、その辺は事業者としては、
0:09:41	どうでしょうか。いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	奥理事の金原です。S7 コウノ薄片②につきましても、③④と同様の位置付けだと思っておりますので、活動性評価に用いることはできないと。
0:09:59	といった記載に修正したいと思います。以上です。
0:10:04	はい、了解しましたそうするとちょっとすいませんこれ審査会合で、そこまで丁寧に行ってなかったかもしれませんが、ナンバー2 の下の方の、
0:10:13	表ではですねは、S7 の薄片②も含めてというふうには何か少し追記いただけると。
0:10:19	大変助かりますがいかがでしょう。
0:10:26	小暮君です。承知いたしました。
0:10:32	難波に関しては私からは以上ですが他に何か追加補足等ございましたらお願いいたします。
0:10:52	あ、規制庁のノダですけど、このナンバー2 の 2、二つあって、一つ目のは家の方なんですけど、
0:11:02	私の理解では
0:11:04	空隙が活動性評価に影響がないことっていうのは、もうちょっとブレークダウンすると二つあって、一つは、最新面が不連続になる箇所粘土鉱物の構造に影響を与えていないと。
0:11:19	というのが一つと、あと二つ目が、最新
0:11:23	面の認定ということで、前者の方については、もう資料に記載されているんで、
0:11:32	我々が特に気にしてんのはやっぱり後者の最新面の認定、
0:11:38	が適切に行われているかということです。
0:11:42	なんで、こういうふうには活動性評価に影響がないことっていうと、何かその二つが含まれてるんですけど、ここで言ってるのは、繰り返しになるんですけど、最新面の、
0:11:55	認定に空隙が影響を与えていないかということだと私は理解しています。
0:12:03	で、そこに関しては、
0:12:10	審査会合の中で、薄片を見せてもらって、最新面の認定が適切に行われているっていうことは確認できましたし、
0:12:20	あと私はやっぱり
0:12:22	今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:24	審査会合資料ですと、空隙が薄片ところ薄片の、例えば、薄片ですね薄片もそうですしスケッチもそうですけどずっと空隙があるんですよね。他方で、
0:12:35	審査会合の中では、例えばその不連続箇所の下の方を見せてもらったときに、ちゃんと基質部が密着している。
0:12:45	ところも、
0:12:47	見せてもらってますし、そういったことは、
0:12:52	最新面の認定ということもそうですし、この薄片んがずれていない、ずれてないっていうのかな、最新ゾーンとそうじゃないところがずれてないってということも、そうやって基質部が密着してるところがあれば、確認でき、
0:13:06	ていうことで確認できたと私は思ってますんで、そういったことも含めて、資料の充実を図ってもらいたいと。
0:13:16	考えているんですけど、その点は、
0:13:22	どのようにお考えでしょうか。
0:13:26	はい。北陸電力の野原です。今ほどののぞんご指摘の通り我々も思っておりますので、
0:13:36	先週の審査会合の資料では限定的な空気があるところの写真しかお示ししておりませんでした、
0:13:44	もう少し下の方まで範囲を広げて示すなどして、
0:13:49	細心がしっかり密着したところから、今評価しているところまで繋がっているということがわかるような、資料2を作成する予定としております。
0:14:00	以上です。
0:14:03	ノダですけどはい。ありがとうございます。そうであれば、はい。ちょっと今、大井の方から確認できていなかったところも、確認できましたので、はい。私の
0:14:15	私としてもナンバーについては、特にこれ以上コメントありません。以上です。
0:14:23	規制庁の宮脇です。もうちょっと補足。
0:14:26	しますと
0:14:28	下の方の密着してるところから予想できる最新面のトレースですね、それは
0:14:38	粘土鉱物が、横断するところのどの辺りを通ってくるのかっていうのは
0:14:44	写真なりスケッチなりでちょっと示してもらいたいですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:49	少し幅を持ってくるかと思うんですけども、それ、そのトレースがですね、空隙の範囲にかからないっていうところ、確かにかからないというところを、
0:14:58	示していただければと思います。
0:15:05	すいません。グルーピングする。
0:15:09	ちょっともう梅崎さんも、これ最初の方からちょっと聞こえなかったんで、ちょっと下の方の密着してる。
0:15:20	部分ありますよね最新面が、
0:15:22	そこから予想される
0:15:26	トレースを、写真なり数スケッチなりに示してもらいたいです。
0:15:33	最新面のトレースが、空隙のところに、
0:15:37	いかないんだっていうところをですね、明確に示していただきたいということです。
0:15:47	はい。北陸電力津田です。今、これも宮木さんのコメントで理解いたしました。そういったことがわかるように、資料、写真、最新のトレースをしっかりと示しまして、
0:16:00	それが空気のところに行かないと、しっかりその品質部、左側にしっかり沿っているということがわかるように資料の方、作成したいと思います。
0:16:11	以上です。
0:16:12	よろしくお願いします。
0:16:15	私の
0:16:17	規制庁海田ですけど私もちょっと念のため補足なんですけど、ここの、
0:16:23	II' の伴家っていうところは今、最新面が
0:16:29	不連続箇所になって不連続になってるっていう粘土鉱物ん粘土脈で
0:16:36	途切れてるとそこが一番大事なところではあるんですけど全体見た時にやっぱ
0:16:43	空隙の対岸にある脈ですね、これが多分、元は一緒だっただろうというのが目で見た、見てみるとここでいけるんじゃないかっていうところが、
0:16:56	結構大きいと思うので、密着してるところってさっきお話があったんですけど、ちょっと見た感じ、密着はしてないけど、
0:17:06	抜けはなくて、ただはがれてこう組み合わせると、何か元に戻るような場所があったようにも見たんですけども。
0:17:16	それって下の方で、戻せば組み合わせられますみたいなのところがあるんであれば、要はずれ動いてなくて、この対岸の、この脈も元は同じ場所で今も同じ場所にあるんだってというのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:29	わかると思うんですけど、組み合わせるような場所っていうのはちょっと明示的に説明はなかったんですけどこれはあるんでしたっけちょっとこれ確認なんですけど、
0:17:46	小栗電力の秋葉です。
0:17:48	雰囲気を含んで、両側ん繋がるような箇所というのを
0:17:56	もう一度薄片全体を確認してみまして、そういうそのような箇所があれば、資料にして、お示ししたいと思います。
0:18:07	以上です。
0:18:11	はい。規制庁甲斐です。わかりました私はもうちょっと写真で見せていただくとか、もともとは同じような、要はパズルのピースみたいに組み合わせるようなところがあったようにもちょっと見えたので、
0:18:25	それがもし組み合わせるといことであれば、こうずれ動いてないっていうん一つの、何か説明性向上にもなると思いますのでちょっとそこら辺、
0:18:36	確認して反映できるのであればしておいていただければと思います。最新面の認定とおんなじ話だと思えますけれども、よろしくお願いします。
0:18:52	出野キムラです。はい、承知いたしました。
0:18:58	はい。規制庁の大井です。
0:19:00	それではえ一つとですね、地形面の変位の有無による評価のナンバー3のコメントに移ります。
0:19:09	こちらは、読み上げさせてもらうと段丘面内縁標高旧汀線高度に基づく検討については、断層をの延長部での評価であることから、活動性評価の主たる根拠とはならないものの、
0:19:23	鉱物脈による評価結果を支持するデータとして位置づけること。
0:19:28	最終的な評価として支持するデータ、主たる根拠をですね支持するデータとして位置づけることっていうことは間違いないのですが、
0:19:38	この文章だけを見ますとですね
0:19:41	結構今回支持するデータだったりする活動性を評価することができないデータとか、
0:19:49	いくつかあるわけで今回この旧汀線に基づく検討というのは、
0:19:54	結構、主たる根拠の次ぐらいの、
0:19:56	支持するデータということなので、この文脈でいうとですね結構否定材料ばかり書かれてて、要するに延長部での評価であることから、車両関係にならないということですけど、
0:20:08	我々としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:11	このデータからですね、事業者と言ってるように断層を挟んで、延長部でもですね挟んで、ほぼ黄砂が認められ、認められないとか、
0:20:22	断層の上盤側が一様に高い傾向がないってということについては
0:20:28	理解をし、確認はできていて、かつそれぞれによって審査会合でも言いましたが断層変位による変動地形っていうのは認められないということの理由から
0:20:41	延長部だからちょっと主たる根拠にできないけど支持するデータとして位置づけることということなので、この鉱物脈によるっていうその前のところにですね少し肯定的な
0:20:53	コメントもしてると思うので、その辺を少し追記いただければなど。要するに断層変位による変動地形は認められないと。
0:21:02	ことから
0:21:06	支持するデータとして位置づけるというふうな、そういうような趣旨でコメントをしておりますので、
0:21:11	そのように修正いただければなどというふうに思いますがいかがでしょうか。
0:21:17	はい。北陸電力の三村です。今までもオギさんのコメントの趣旨理解しましたので、このコメントのナンバー3、もう少し肯定的な
0:21:26	内容のについて通勤したいと思います。
0:21:31	以上です。
0:21:33	はい。よろしくお願いいたします。
0:21:35	次のですね地形面岩盤上面の高度の比較については、適切な断面線が設定できないことから活動性を評価することができないデータとして位置づける。
0:21:46	ことっていうのはこれざっくり言うと適切な断面線が設定できないということというのはこちらの趣旨ではあります。
0:21:55	いろいろこの会合の中ではそのその理由としてですね、三つぐらい、
0:22:02	二つか三つぐらい挙げた点。
0:22:05	がございましてちょっとそれを、
0:22:07	確認させていただきたいんですが、
0:22:10	1点が角側の傾斜の
0:22:16	海側へ、段丘面がですね、海側へ傾斜するのが一様ではないっていう点と、この地域の旧汀線が入り組んだ形状になっていること、また近くに福浦断層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:28	があってですね、断面線を非小断層を挟んで、旧汀線に平行な断面を引こうとしたD&Dは'断面がありましたけど、
0:22:37	阿蘇例の中でフクダ断層の影響が排除できないと、この三つぐらいの理由が、
0:22:44	いわゆる適切な断面性が設定できないというようなことにかかっているわけですが、それは今ここで書かれてませんが、認識は同じということでよろしいでしょうか。
0:22:57	はい。北陸電力の野原です。今までの見積もり我々も認識しております、ちょっとこのコメントのリストの中には書いておりませんが、
0:23:07	今ほどの三つの理由につきましてははっきり理解をしております。
0:23:13	はい。認識共有されているということであれば私としてはこのコメントでいいと思い
0:23:19	ナンバー3のコメントについては以上となります。
0:23:22	何か補足等ありましたらお願いいたします。
0:23:27	規制庁の海田です。
0:23:29	今の大井の方から話した
0:23:33	旧汀線の方ですね、これは私もそこに
0:23:42	支持するデータっていうのはやっぱ何かって言うと断層変異による変動地形が認められないという結果が江良少なくともそういった答えられてるっていうのを、
0:23:54	が支持するってことなのでそういった一文をちょっと入れていただくというところは、その通りかなと思ってまして、そうすると
0:24:05	資料の方もですね、これ位置付け変えるだけじゃなくて、どっちかっていうとこの旧汀線の検討っていうのは、断面図の検討が主な
0:24:18	内容でそこに行く途中の何か導入ぐらいの感じのような位置付けで、資料では書かれてて、
0:24:28	様に高い傾向が認められないとか、そのぐらいで終わってるんですけど、
0:24:33	資料の方にも、なので、変動地形がないんだとか、何かそういったものが認められないん、何か
0:24:44	もんなんだみたいなどころまでちょっと追記をしておいていただきたいんですけども。要は
0:24:52	旧汀線の話もここで一つの話として、ある程度ちょっと完結したような話。
0:24:58	付けたつけていただきたいということですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	その点よろしいですか。
0:25:14	はい。北陸電力の野原です。
0:25:17	衛藤旧汀線の検討に関しましては一様に高い傾向は認められないという結論のみこれまで資料に記載しておりましたが、断層による、
0:25:27	変動地形は認められないと、こういった趣旨のことも併せて、記載させていただきたいと思います。
0:25:34	会談の趣旨、顧問の主事承知いたしました。以上です。
0:25:38	は海田です。よろしくお願いします。
0:25:44	規制庁の宮脇です。
0:25:48	段丘面内縁行動についてですけども
0:25:53	これはアノ断層オノ延長部の評価であることから、活断活動性評価の主たる根拠とはならないものというところなんですけども、
0:26:04	この延長部が悪いっていうんじゃなくて、この、
0:26:09	断層をのこの端部としている。
0:26:12	アノ南端分としての延長部だからということなんですよね。
0:26:17	そこんところはよろしいですかね。
0:26:25	檀さんの延長です。よろしいでしょうか。
0:26:30	その辺の宮木さんのコメントの、
0:26:33	また聞こえませんでしたので、もう一度お願いできますでしょうか。
0:26:38	旧汀線高度についてなんですけども、
0:26:42	ここの記載だと、断層の延長部での評価であることから、
0:26:48	活動性の主たる根拠とはならないというふうに書いてあるんですけども、
0:26:53	延長部で、
0:26:55	あるから駄目だっていうんじゃなくて、
0:26:57	断層のその南端部の延長であることからということなんですけどもそこはよろしいですか。
0:27:10	北陸電力の西田です。すいません断層の延長部での評価であることからではなくっていうところまでちょっと聞き取れたんですが、すいませんそれ以降がもう一度ちょっと聞き取れなかったので、
0:27:24	申し訳ないんですけど再度お願いいただけますでしょうか。
0:27:27	断層の延長部呉での評価であることからっていうところなんですけどもアノ断層の南端分の延長部であることからということなんですけども、
0:27:44	よろしいですか。
0:27:51	聞こえますか、北陸レベル。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:54	アフリカ電力の新原です。断層をの端部の延長部の評価であることから、そういったご趣旨でよろしいでしょうか。はい、はいそうですアノ南端分のさらに延長でやってますよね。
0:28:06	だから主たる根拠とはならないということなんです。
0:28:16	北陸電力の野原です。宮木さんのご出身理解できましたので、こちらもそういった趣旨でアノウエキ済みで、表現、そのように、
0:28:27	適正化して資料の方に反映したいと思います。以上です。はい。お願いします。
0:28:35	規制庁の海田です。
0:28:37	今の点なんですけども、一応
0:28:42	断層網の南端の延長部での評価であることからっていう、全部が全部ってような書きぶりになってしまってますけど、
0:28:53	多分、大部分がとかほとんどがってようなことで、言ってたと思います一つぐらいは、何て言いますかねちょうど乗ってくるかなぐらいの、
0:29:03	があったと思うので大部分がとか何かほとんどがみたいな、そういったような趣旨のお言葉を付け加えておいていただけますでしょうか。
0:29:15	はい。北陸電力の野原です。承知いたしました大部分がというような表現を入れさせていただきたいと思います。
0:29:23	以上です。
0:29:24	海田です。よろしくお願いします。
0:29:36	規制庁が多いです。
0:29:37	それでは続き、続いての、コメントNo. 4 ですが、
0:29:45	これは破砕部性状の比較ということで、破砕部性状の比較に用いている斜敷地内断層の例として陸域の断層のデータも示すこと。
0:29:54	これはその通りでございます。
0:30:00	はい。ちなみになんですけど、ここSKの断層で、
0:30:05	今、どの断層を、何かこう、
0:30:07	考えておられてるのかなっていうのをちょっと教えていただくことは可能でしょうか。
0:30:18	堀連絡の木場です。
0:30:22	この敷地内断層の比較的規模の大きい断層としてS1S2、S6とありますけども、
0:30:30	そのうち、
0:30:32	この断層をとMaaS層厚が、
0:30:36	近い方のSBS多くの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:39	発見を用いて、説明したいというふうに考えております。以上です。
0:30:46	規制庁の大江です。ご説明ありがとうございます。
0:30:49	現時点でのお考えということで確認できました。
0:30:55	私からNo.4については以上です。
0:31:01	引き続き、ナンバー5。
0:31:05	のコメントですが、これ加藤さんのまとめということで、データの1図形についてのコメントです。
0:31:16	えーとですね。
0:31:17	まとめとしてはいろいろほかにも鉱物脈法による評価だったり、
0:31:23	地形面の変位、変位の有無による評価についても言っているんですけどその他のか、ことですねこれは、
0:31:31	文献調査、空中写真判読、
0:31:34	についてはそれを根拠を支持するデータとして位置づけること。
0:31:38	あと破碎部性状の比較からの評価、切り合い関係からの評価反射法地震探査結果については主たる環境と整合するデータとして位置づけることと。
0:31:49	これもその位置付けとしての
0:31:51	関係というのは、間違っていない。
0:31:56	えっとですねちょっと記載としては
0:32:01	ちょっと実際会合では、空中写真判読するのは実際、事業者の資料としてあったのでそれを読み上げたんですけど、そのあとによる、
0:32:10	富士市判読による変動地形学的調査についてはというふうにちょっと言っていましたので、
0:32:15	その点を追記いただければと思います。
0:32:20	もう1点は
0:32:24	切り合い関係からの消火っていうところでこれ、
0:32:29	もちろん事業者の資料、
0:32:30	この通りなので、ちょっとこういうのはちょっとあれなんですけどこれはいわゆる福浦断層ともっていうふうに、
0:32:37	このコメント単独で出てくると。
0:32:40	ちょっと、
0:32:41	どうかと思って私としては福浦断層との、
0:32:45	切り合い関係からの評価っていうふうにしたほうがわかりやすいかなというふうに思いました。
0:32:51	以上これこの後ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:54	このまとめについてはかなり私的に行ったんですけど、審査会合であるまりやりとりがなかったかなというふうに思っていますが、事業者としてこのなんですかねこの文献調査と空中写真判読が支持するデータであることと、
0:33:09	その他の、このデータっていうのは、整合するデータって、
0:33:13	という位置付けについては納得されてるっていうことでよろしかったでしょうか。
0:33:21	はい。北陸電力の野原です。
0:33:23	あと文献調査と空中写真判読による変動地形調査ということに関しましては、直接断層が、の分布が想定される場所について調査した結果、
0:33:34	見つからないということで、支持するデータという規制庁さんからの、
0:33:40	関我々も全くしております。
0:33:42	またその破碎部性状からの比較ですとか切り合い関係からの評価の反射法地震探査の結果、これらは、直接それ単独では、断層の活動性評価するものではありませんが、
0:33:55	間接的に評価するというものでありまして、
0:33:58	これを整合するデータとして位置づけることにつきましても、我々としては納得しております。
0:34:04	以上です。
0:34:07	規制庁の大井です。ご説明ありがとうございますその後の方の方は間接的なデータであるということから
0:34:14	ご納得いただけるということで理解いたしました。
0:34:18	ナンバー5について私からは以上です。補足等ございましたらお願いいたします。
0:34:30	ナンバー5 なんノダですけど、ナンバー5 について、すごい形式的なんですけど、
0:34:37	の結果っていうのを入れてもらっていいですかね。文献調査、空中写真判読による変動地形学的調査の結果ニイツの結果については、去る根拠を支持するデータとして位置づけることという、
0:34:51	の結果を入れてもらえればと思います。以上です。
0:34:58	はい。郡司松村です。の結果についてはというふうに追記したいと思います。以上です。
0:35:13	規制庁の大井です。
0:35:14	最後に、コメントNo. 6 時から野川断層についてですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:19	こちら
0:35:21	指摘の通りかと思います。
0:35:24	瀧川野川断層の東端の評価については断層がロカリティアで認められることを確認しているがアンゼンガワニ重力異常急変部が途絶える地点を北東たんと呼んでいることがわかるように資料を適正化することと、
0:35:38	その通りでございます。
0:35:41	大沼6について私からは以上です。
0:35:48	規制庁海田です。
0:35:50	これ大井当日やりとりさしていただいたんで
0:35:57	趣旨はご理解いただいていると思うんですけど
0:36:02	ちょっと明確化する意味でも、断層は6A、
0:36:07	認められなくなることを確認しているがっていうところでこれ、
0:36:12	これは地質調査の結果から、檀、この6で認め、地質調査結果ではここで認められなくなるというところと、それからアンゼンガワニ。
0:36:24	こういった重力では、
0:36:28	それがあとソース対応するのが途絶える点まで伸ばしている、そこを端部としてるっていうのがわかるように、地質調査の結果からというようなところ。
0:36:38	ちょっと1市1分というかその辺の文言追加しておいておいてよろしいでしょうか。
0:36:51	北陸電力の野原です。
0:36:53	地質調査結果からということをしっかり明記しまして、さらに安全側に判断してということがわかるような記載に修正したいと思います。
0:37:04	以上です。
0:37:06	海田です。はい、では、よろしく申し上げます。
0:37:15	規制庁の大井です。
0:37:16	それでは敷地近傍に関するラップアップのコメントについては、以上となりますが、何かその他これに関して、
0:37:28	審査側から何かコメント等ございますでしょうか。
0:37:37	規制庁の野田ですけど、ラップアップということで、今コメントの内容は、確認できましたし、それについて、
0:37:47	相互理解が図られたと思うんですけど、
0:37:52	審査会合資料の222ページ、断層の評価結果。
0:37:59	ここが多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:05	先週金曜日の審査会合を踏まえて、
0:38:08	大分変わってくるんじゃないかなと思っています。例えば、今、活動性評価のところは、①で、その地形の話、②で鉱物脈ってなってるんですけど、
0:38:21	少なくともここは、①が鉱物脈法による評価となりますし、
0:38:29	地形面の評価は、
0:38:31	支持するデータということで、
0:38:36	他の支持するデータ等多分、
0:38:38	位置付けを、また、変更しなきゃいけないとか出てくるんじゃないかと思うんですし、思ってます。加えて、断層の評価の一番最後のところは、
0:38:49	私が一応審査会合で、その三つの位置付けですね、直接的な主たる根拠となるものを支持するデータ整合するものと、三つに分類して、
0:39:02	お伝えしましたんで、多分そういったところがベースになって、断層の評価、一番下の箱書きのところですね。ところが
0:39:13	変更になってくるんじゃないかと思っているんですけど、
0:39:18	御社の方もそういう認識で、
0:39:21	いらっしゃいますか。
0:39:25	はい。北陸電力の野原です。この 222 ページにつきましては、今ほど野田さんおっしゃった理解で我々も打ち合わせの方させていただいております。
0:39:36	鉱物脈法を①というふうに変更。
0:39:40	変更といいますか①と言いますとその前のページの 221 ページでも繋がるでちょっとわかりにくいので①という表現を使うかどうかはちょっとわかりませんが、
0:39:50	いずれにしても鉱物脈による評価が一番、頭に来まして、
0:39:55	そして地形面に変位の有無の評価はそれを支持するデータという扱いに資料の構成を見直したいと思ってます。
0:40:03	また最後の箱書きにつきましても、
0:40:06	先週、分類してもらいました。三つのこの分類内容がわかるような位置付けで、
0:40:13	しっかり最後の箱書きの中に記載させて記載していきたいというふうに考えております。
0:40:20	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:22	ノダですけどハラさん、ありがとうございます。あと細かいところで言うと、222 ページの上の箱書きの中で、反射法がその連続性評価のところに、
0:40:34	入っているんですけど、私が会合で少し整理した通り、反射法はその連続性だけではなくて、端部の延長部であるものの、一応断層がないってことは、深部に断層がないということは確認しておいて、
0:40:50	それは活動性評価の間接的なエビデンスですね、要するにその整合するデータというところに位置付けられますんで、ちょっとそういった意味で、上の箱書きのところも少し、
0:41:04	整理が必要かなと思っておるんですけど、そういったところは多分会合で、一応、
0:41:13	総理解が図られるように、発言したつもりなので、そういったところも含めて、222 ページの全体整理、あとはそれを踏まえて、個別の
0:41:26	評価結果等々、それ以降のページですね、整理していただければと思います。以上です。
0:41:36	はい。北陸電力の野原です。今ほどの反射法地震探査の他使え、扱いの件につきましてありがとうございました。連続性だけではなくて、間接的な意味での活動性評価。
0:41:47	としての位置付けもありますので、そういったことがわかるように資料に反映していきたいと思います。以上です。
0:42:45	審査側からは大体、
0:42:48	これぐらいなんですけど、事業者から会合で聞き取れなかったの、少しわかりづらかったとかそういうことも含めてですが
0:42:59	何か、
0:43:00	確認されたことっていうのは、
0:43:03	ないでしょうか。
0:43:08	北陸電力藤田です。
0:43:11	資料の内容そのものについては今のやりとりさせていただいたんで、我々の考えと一致しておりますので、
0:43:18	これ以上、
0:43:19	確認したことはないんですけど、
0:43:21	資料の修正の方法なんですけども、そういう点でもよろしいですかね。
0:43:26	はい。お願いします。
0:43:29	今確認いただいたコメント一覧。
0:43:33	この内容について修正します。それで、今後出す資料については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:39	この 14 日の会合でこういう指摘があったのでっていうこのリストをつけた上で、改めて 10 本の断層をまとめた資料をつけるように、
0:43:49	な形で整理すればよろしいですかね。
0:43:51	このコメントちゃんとの位置付け。
0:43:54	だけ確認させていただけますかよろしくお願いします。
0:44:04	すいません次回の時に、10 本の断層と要するに、近傍の 10 本の断層のまとめ資料的な形で、
0:44:15	出していただくという、敷地近傍のですね、出していただく上で、
0:44:20	このコメント一覧、
0:44:26	も付していただいて、
0:44:30	それに対する回答を、
0:44:32	もうこのまとめ資料の中で、
0:44:35	書くかそれとも別途そのコメント回答。
0:44:40	イメージされてるのはコメント回答資料として、
0:44:44	出すかどうかとかそういうそういう、
0:44:46	質問でしょうか。
0:44:50	保険料フジタです。
0:44:53	今のこの修正したこの一覧を、どういうところにつければいいのかなと いうことで、最後のまとめ資料の
0:45:01	冒頭のあたりで、これまで何回か会合をやりました、現状者も来てもら いました。
0:45:07	その中でこういうコメントが最後、
0:45:12	適正化に関するあったんでそれも含めて、しっかり取りまとめましたって いう形にしてこれを、その最終の資料の中のデータとして付けるって いうふうにイメージしてたんですけども、そういう形でいいのかなどうか。
0:45:26	このコメント一覧は別につけなくてもよくて、今言った趣旨をしっかりと反映 した 10 本のまとめをちゃんと作ってくださいっていう趣旨なのかそこを 確認したかったんですけども。
0:45:35	規制庁の大井です。まとめ資料として立つ際に、コメント一覧を、その 資料の中につけるかどうか、過去の事例を見ると、
0:45:45	最後の会合のコメント等、リストがついてる資料もあると思いますのです、 先ほどおっしゃったようにコメント一覧を、
0:45:57	冒頭につけて、まとめ資料として出していただくということで、
0:46:01	よろしいかと思います。他に何か井坂から何か補足あれば。
0:46:06	お願いしたいんですが。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:12	北陸電力藤田です。趣旨、理解できましたので、この一覧しっかり今の、
0:46:17	議論を踏まえて修正したものでしっかりつけて、まとめに入りたいと思います。以上です。
0:46:30	野田ですけど、アノフジタサンゴ加来確認ありがとうございました。そうですねコメント一覧に、先週の審査会合のコメントも
0:46:41	付け加えてもらえればと思う一方で、御社丁寧についてコメント回答の概要とか作ってもらってるかと思うんですけど、念のためそれはもういらなくてですね。
0:46:53	資料の中で、本資料の中で、反映してもらえれば、大丈夫ですので、お伝えしておくのと、あと、そうだ。
0:47:06	もう1点ちょっと御社に資料の関係でお伝えしたいことがあって、これは今後、今後の、
0:47:14	今後の審査会合に向けてってということなんですけど、実は前回、前回、先週の審査会合のときに、補足資料が机上配付資料になっていたんですけど、
0:47:26	通常、補足資料妥当、あまり机上配布にはしてないんですよ。私の頭の整理では、机上配布になるのは、例えば、音波探査とか、そういうデータ系のものを、
0:47:39	データ集ですねそういったものは、机上配付資料にしてるんですけど、通常補足資料とか参考資料っていうものは、机上配付にしていないので、
0:47:53	補足資料とするのであればそれは机上配布ではなくて、
0:48:00	普通にナンバリングしてもらえればと思いますし、逆にこれ今、
0:48:07	先週の資料、補足資料となっているものの、ナカ見ると結構データが多いんですよ。だから、もし机上配布にするのであれば補足資料じゃなくて、データ集等、
0:48:18	というような整理にしていただければと思って、今後ですね今後していただければと思ってるんですけど、その点、その点っていうか、初めの点もあるんでしょうか2点か2点いかがですか。
0:48:33	はい。北陸電力の野原です。1点目のまずコメント回答概要がいないという件につきましては承知いたしました。資料の中で反映していきたいと思います。
0:48:44	また2点目の補足資料を机上配付資料では通常ないという点につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:51	我々これ補足資料の中身本資料を今補足すると言いますか
0:48:58	主たる根拠呉ですとかそれ以外の根拠も含めて補足するという位置付けで、本資料とセットというふうを考えておりますので、これにつきましても今後机上配布資料ではなく、
0:49:08	資料、
0:49:10	1-2なのか資料2なのかそういったふうに資料番号をつけた資料で出していきたいと思っております。
0:49:18	これまでデータ集としておりました例えば音波探査記録集ですとか、柱状図、ボアホールコア写真、こういったものは、本当にデータでも、らしている資料ですので、
0:49:29	そういうものにつきましては引き続き机上配付資料というふうに整理をしていきたいと思っております。
0:49:35	以上です。
0:49:38	ノダですけど野原さんありがとうございました。後者の資料の審査会合における資料の位置付けは、もし、
0:49:48	ちょっと悩んだりするところがあれば、それをまた審査会合に向けたヒアリングとか面談の中で確認いただければ、我々の方でも中身見てですね、
0:50:01	適切にお伝えするようにしたいと思いますので、今後よろしく願いいたします。以上です。
0:50:11	はい。グループの原です。承知いたしました。またその都度、何かあれば相談をさせていただきたいと思っております。よろしく願いします。以上です。
0:50:31	規制庁海田ですすいませんちょっと
0:50:35	話がまとまっ。
0:50:37	て言ったところでちょっと資料の中で1ヶ所だけ確認したかったところあったのでこの機会に確認しておきたいんですけども。
0:50:46	327 ページ、これ
0:50:51	ヒアリングを踏まえて追加されたところかと思うんですけども、
0:50:58	すいません話が戻っちゃいまして、
0:51:00	切り合い関係というかその辺の根拠となる、ビジュアル的に示していただきたいという、
0:51:09	ところを踏まえた資料だと思うんですけども、
0:51:13	これ福浦断層の地表トレースっていうのが、
0:51:17	S9 コウノ坑口の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:20	東側を回り込んで、
0:51:24	書かれているように、はい。麻生そうですね、見えてまして、
0:51:30	片やどこでもいいんですけどこの前のページの326ページとかを見ると、
0:51:38	小口の西側を通っているようにも見えてちょっと一見すると、
0:51:44	そうであってないようにも見えるんですけど、これは何かこうちょっと条件が、
0:51:50	書いてある条件がちょっと違うとかそういったことなんでしょうかちょっとそこは確認、すみませんこの場で確認させていただきたかったですけど。
0:52:02	はい。北陸銀行の小林です。まず327ページにつきましては、スクエアさとして書いている黒線ですね、こちらの方が、
0:52:12	地表との線を書いております。
0:52:16	で、その構成を見ますと、
0:52:19	OS急行というのが、フクダ断層の上盤側に来ると、そういった位置関係になります。
0:52:26	一方で、前のページの、326ページ。
0:52:30	の方ですね、こちらの方は、実は地表トレースにはなっておりませんでして、こちら、もう少し、
0:52:41	低い、
0:52:44	ELで書いておりまして、この意図と申しますのが、
0:52:49	北のほう、リニアメント変動地形がありまして、
0:52:55	そちらのELの方が、今、F空港の周りのEL55メートルよりも少し低いところにあるということで、
0:53:03	キタノ、
0:53:04	アビルすみません、鳥羽ダムの北川ですね。
0:53:08	そこからトレースを滑らかにつないでくるために、実際の地表よりも少しいえる低いところを書いておりますので、そういったことがあって、
0:53:19	OSKコウノが、フクダ断層の
0:53:24	下盤側に来れない関係になっております。ですので、
0:53:27	327ページの黒線の方が、より、
0:53:31	正しいといえますか、治療トレースになっておりまして、
0:53:34	で、
0:53:35	それ見ますと、OS傾向が膨らんソウノイシカワ。
0:53:40	上盤側に来るといった位置関係になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:44	以上です。
0:53:47	規制庁の海田ですを、わかりましたそういう。
0:53:52	書いてる標高が違っているということで、違いが、
0:53:56	生じているという説明。
0:53:58	ですね。
0:54:00	ということはこの他のページも全部、地表トレースじゃなくてこれ、実はこれは何メートルとかを、の本想定位置というか、その地表トレースじゃないっていうことだったんですかね他のページもすべて、
0:54:17	そこを、そこもちょっと教えていただきたいんですが。
0:54:22	すいません北陸電力の小林です。失礼しました 327 ページの、
0:54:27	左下枠の、1 マル目の方に、すいません
0:54:33	そちらの説明の方が書いておまして、
0:54:35	大戸尾花付近の調査イセ前ページ図におけるクラスニシノ断層位置は、鳥羽ダム側の地方方向に対するEL43 メートルの付近の、
0:54:48	断層でイチノセたものであったということで、すいませんこちらの方に、
0:54:53	記載をしております。以上です。
0:54:59	すいません。失礼しました。布田丸目の方に、
0:55:03	こちらのページでは、事業評価に対応するトレースを、
0:55:07	書いておりますということで、
0:55:09	こちらの方に説明を書いているということになります。
0:55:13	以上です。
0:55:15	規制庁の甲斐です。わかりました今その説明だということなんですけれども、
0:55:23	もう一つの確認は、このページ以外の
0:55:27	断層トレース福良断層の部分はこれですよっていうトレースは、これは全部、
0:55:36	地表トレースではなくて、何か何メートルかを想定した位置だということ。
0:55:43	为什么呢。ここの三百二十六、七とかじゃなくて他のところも含めての話なんですけれども、
0:55:55	はい。北陸電力の小林です。
0:55:59	他のの方も同様でして、地方付近の方にあげて、滑らかにこう繋がるような形で書いています。
0:56:09	いう。
0:56:09	ことになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:12	ですので厳密に記号トレースを書いているわけじゃなくて、あくまで地表に近いところに挙げているトレースということになります。以上です。
0:56:28	はい、規制庁海田ですわかりましたじゃちょっと
0:56:32	ちょっと327ページのこの今下の文章とか、
0:56:36	は聞けばわかるんですけども、
0:56:45	ちょっとその辺、
0:56:46	筒井ついでと言っちゃなんですけども、
0:56:51	何かこうわかりやすいような形で、
0:56:56	書いておいていただければ助かるんですけども、ちょっと
0:57:00	聞けばわかるぐらいじゃなくてちょっとぱっと読んでわかるような、
0:57:05	んだと助かるんですけどもちょっと難しいでしょうかそれ。
0:57:13	北陸電力の野原です。フクダ断層のトレースにつきましては、今ほど小林から説明があった通り、327ページにつきましては、OS空港との関係ということで、厳密に、
0:57:27	このエリア、
0:57:28	で持つ細かい地表位置をトレースしたものになります。
0:57:32	それ以外の部分につきましては、
0:57:35	その検査の時点の地表というものを大まかに反映したものでありますので、
0:57:42	そういった主旨がわかるように、この資料の中の最初にフクダ断層のトレースが出てくるところ、そういったところに、その考えをしっかり記載、しっかりと言いますか、そういった趣旨を
0:57:55	記載するようにしたいと思います。
0:57:58	以上です。
0:58:00	規制庁海田ですわかりましたじゃその辺わかりやすさの観点から、よろしくお願いします。以上です。
0:58:17	規制庁の大井です。
0:58:20	それではですね敷地近傍に関するラップアップは、以上となります。
0:58:28	す。では引き続き、
0:58:31	海域の方の資料に対して、少し審査側から、
0:58:43	コメントですかね、コメントがあるそうなので、それについてご準備いただけますでしょうか。
0:58:49	資料の方は手元にあるということで進めてよろしいでしょうか。
0:58:55	北陸電力藤田です。資料の方準備できております。よろしく願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:59:00	はいんでは、
0:59:03	会議の方のコメントをお願いいたします。
0:59:19	規制庁の野田ですけど、衛藤海域の方、ざっと見まして、私が事実確認、すいません面談中ですけど事実確認したいのは、
0:59:31	海士岬沖の北端のところと、あとは連動のところですね、エンドウの評価のところ、
0:59:41	具体的に 100、まず海士岬沖の北端の方は、115 ページ。
0:59:48	お願いしてもいいですか。
1:00:01	アノ 115 ページのところ、ここ文献調査の結果で、まず二つ確認したいのは、上の箱書きの一つ目のところで、これ岡村先生の 2007、ってなったごめんなさいこれ元の二つはですね形式的なところで、
1:00:16	2007Aってなってるんですね。他方で、右下の凡例を見ると、文献による断層撓曲褶曲ですね、それが下の方にあって、
1:00:27	ここ、岡村先生たち 2007 ってなってんすけど、
1:00:30	これは違うものですか、同じものですか、簿記ですかね、これは。
1:00:36	まずここを確認させてもらっていいですか北陸電力社です。こちらの、岡村 2007 の岡村 2007 につきましては、
1:00:45	この上の四角の岡村 2007Aと同じものになります。すいません今回、その岡村ドイ津野岡村 2007 という文献が複数でできますので、
1:00:56	本文の方は、ABCと修正をさせていただいてるんですけども、すいません判例の方がちょっと反映できておりませんのでこちらについては岡村 2007Aが正しいものになります。
1:01:08	はい。以上です。ありがとうございますはい。私もあの子の文献一覧見て岡村先生の、2007 はABCあるのは承知してるんですけど。わかりました。じゃあそこは直してもらえればと思ひまして他のところも、
1:01:22	確認していただければと思ひます。
1:01:25	あとは、同じ 115 ページの上の箱書きの、丸が幾つかあって下から 2 番目のところで国交省ほか 2014 とあって、
1:01:35	これ、国交省ほか 2014 の中で、断層トレース実施されている一方で、これが下の図には反映されていないんですけど、
1:01:46	これは反映していない理由を確認させてもらっていいですか。
1:01:51	北陸電力 1 社です。
1:01:53	こちらは今回、図示しているものにつきましては、モデルとして、国交省につきましてはモデルとして書かれているものを図示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:06	断層トレースにつきましては、確かに図示されているのはちょっとわかるんですけども、かなり画質が粗くてですねちょっと、
1:02:16	落とすのがちょっと難しいということもありません、ちょっと今回この、こちらの資料にはそういう断層トレースのところまでは落としていないという、
1:02:26	ことになっております。以上です。
1:02:31	野田ですけどご説明ありがとうございます。ちょっと理由がよくわかんなくて、藤断層もモデルが設定されていないのがここに図示していない理由なのか、後者の画質が悪いことなのか。
1:02:44	ちょっと今のご説明だとそこが明確にならなかったのと、あと私がなぜそれを言ってるかという、一応国交省という、国、国ですよ。国の報告書の断層トレースを、
1:02:57	図示しないってところが、私にはちょっとよく理解できなかったですし、これはガイドの中でも、そういった既往の文献については、
1:03:08	文献調査にも挙げ上がりますし、当然それと、この北端なんかそうですけど、既往の文献と違う見解を採用した場合には、ちゃんとその明確な理由をせず、
1:03:23	確認することとなっていて、
1:03:25	いる関係から、断層トレースが図示されないというところがちょっと私には理解ができなくて、事実確認してるんですけど、ちょっとそういったことも含めてもう1回確認させてもらっていいですか。
1:03:39	すいません北陸NPSすいません。る、我々もここにまずしたルールとしましては、断層モデルを図示するというルールで記載しておりましたので、
1:03:53	この図には、
1:03:55	海士岬については、その断層モデルが設定していなかったもので、今回実施しておりませんでした。また事実として断層トレースが図示していますので、
1:04:04	これについては先ほどちょっと、
1:04:08	外出の話もしましたが、これについてはちょっと、野田さんおっしゃることはわかりますので、このモデルなのかトレースなのかの違いがわかるように、ちょっと記載をしたいと思います。以上です。
1:04:23	野田ですけどイシダさんご説明ありがとうございました。ごめんなさい。私は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:30	断層モデルが設定されていないから、ここに反映させて、はせる反映させる必要ないっていうのは、少なくとも受け入れられないですなぜかっていうと、
1:04:42	別に文献で、断層トレース断層モデルが設定されていなくたって通常分、それは岡村先生もそうですし、国の機関が出してるものっていうものは、文献調査結果として、
1:04:56	示すべきですし、特に国交省文科省、国の機関がやってるものっていうものは、それなりの位置付けがあるものですので、それを示さないっていうのは、すいません。
1:05:08	示してもらえないっていうのは、少なくとも、ヒアリングで事実確認できないですし、審査会合で議論できないと思ってますので、ちょっとそういった点は、気をつけていただければと。
1:05:22	思うんですけど、その点はいかがですか。
1:05:28	はい。北陸電力のものです。現状の資料として、国交省の
1:05:36	勉強に断層断層モデルが書いてくるという改定が設定されていないということで書いてなかったんですがこれにつきましては、確かにSOA、そういった
1:05:48	適切なものではありませんので、これにつきましては失礼いたしました。そしてその断層トレースにつきましてはこの文献、外出とかの関係で、落としづらいという部分がございますが、
1:06:01	その中でも、なるべく適切にこういった 115 ページの中に、図示をしていきたいと思っております。金ゴコウ斜面A地域、そういうふうはこの資料の方を見直したいと思えます。
1:06:15	以上です。
1:06:18	野田ですけど、野原さんご説明ありがとうございました。私も適切ではないと思っておりますので、今後気をつけていただければと思えますし、
1:06:28	31 日のヒアリングには間に合わないと思えます。31 日のヒアリングこれで構いませんので、以降のヒアリング審査会合に向けて、他のところも、
1:06:40	あればですね、同様に修正していただければと思えます。
1:06:46	それがちょっと文献調査の細かいところで、
1:06:49	あとす。
1:06:50	そもそも、
1:06:53	この北端のところは、文科省 2014 と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:00	一応、御社は異なるところに、北端を設定していて、繰り返しになるんですけど、ガイドでは、既往の資料と資料と異なる見解を採用した場合には、
1:07:13	その根拠が明示されていることを確認するとなっていて、私はそういうガイドに沿ってですね、
1:07:23	根拠が明示されていることを確認しなければいけないんですけど、残念ながら、この資料では、その根拠がですね、明示されて、
1:07:34	言いません。例えば、この子、
1:07:39	115 ページでいいんですけど、文科省 2015 は、この岡村先生の 2007 とか、井上岡村の 2010 とか、こういったものをベースに、
1:07:50	多分断層、こう引いてるんだと思うんですね。
1:07:55	ただ、そもそもこの
1:07:57	岡村 2007 とか、井上岡村 2010 について、
1:08:03	少なくとも、この資料上で、
1:08:06	そういう、この文献が、どういった音波探査記録で、どういった解釈で、この断層トレースを設定しているかっていう、
1:08:17	ことがまずファクトとして書かれてないですし、それに対して、御社が文献に対して、
1:08:26	御社の見解なのかもしれないし、御社がやられた音波探査記録もしくは、他の機関がやった音波探査記録を用いて、
1:08:36	それとは違う見解を示しているのであれば、そういったものが示されていないと。
1:08:44	少なくともそういったものが示されて、そういった根拠が示されていないと。私は、異なる見解を採用した場合の根拠が、
1:08:54	明示されているとは思っていませんし、その確認もできないんですけど、その点、御社はどのようにお考えか、確認させてもらっていいですか。
1:09:09	はい。北陸電力の野原です。
1:09:12	衛藤。ちょっとこの今の 115 ページから離れているんですが 500 ページの方をご覧いただきたいと思います。
1:09:24	衛藤。
1:09:26	この 500 ページに我々としての海士岬沖断層THAIの国東端としての考え方、
1:09:33	こちらの方示させていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:42	文献も、海士岬沖断層体といますのは、産総研の井上さんのイノウエ 2007 という文献に基づきまして、方法が書かれておりまして、
1:09:53	それ以降に出されました、国交省さんですとか、
1:09:57	文科省さん、そういったものもこのイノウエ 2007 のトレースに準じて、断層の方、長さ等を設定していると思われまして。
1:10:07	この 500 ページに記載しておりますのは、
1:10:11	500 ページの上の白枠の一番最後の、
1:10:15	マルを見ていただければ結論、簡単にわかるんですが、
1:10:21	イノウエ 2007 の文献は、ブーマーといまして左下の図で言いますと、
1:10:28	この青い線、
1:10:30	青い線でこの海士岬沖断層体というものを評価しております。
1:10:34	それに対しまして当社は、そのブーマーに加えて、
1:10:38	当社が実施しましたスパーカーという測線、ピンクで示す測線ですが、
1:10:44	このピンクで示す測線もあわせて、この三崎オギ断層体を評価しております。
1:10:50	そうしますと、
1:10:52	衛藤、ピンクのブーマーだけ、ごめんなさい、青井青井測線のブーマーだけですと、
1:10:58	衛藤、こちらは目崎沖断層対北から南、北から南まで 1 本の断層というふうに解釈、通すされるんですが、
1:11:08	それにスパーカーの解釈を加えますと、
1:11:11	この途中、二つに断層が分かれるということがわかります。
1:11:17	この二つに分かれたうち、北川のものを、我々は佐貫断層対東部の分岐断層、
1:11:24	そしてあと、南側といますか、西側のものを、海士岬沖断層体というふうに分けられると。
1:11:32	そういった解釈がこの 500 ページの方に書かれております。
1:11:36	それいたしまして文献と我々としまして、見ている測線が違うのではないかと。
1:11:42	そういったこともあって、文献理由海士岬沖断層体の北端と、我々でいうアベ三崎断層の北東たが異なると。
1:11:51	解釈をこちらのページに書かせていただいております。
1:11:55	今ほどの 115 ページですとか、
1:11:57	そういったところにこの 500 ページへの紐付けがないということも今のこの資料のわかりづらさにもなっておりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:04	まずはそういった紐付けの方はしっかり行いたいと思っております。
1:12:09	以上です。
1:12:13	野田ですけど、小原さんご説明ありがとうございました。私も 500 ページ見ていて、
1:12:20	ここに北東丹があるんですけど、
1:12:22	ちょっとここは私だけじゃなくて、他の審査官も、もし、ご意見あればと思うんですけど。
1:12:30	なぜここに北東丹の話が来るか私がよくわかんなくて、それはなぜかという、ここはあくまでもその連動の評価のところですよ。
1:12:40	で、
1:12:42	普通その
1:12:44	まずは連動の前に、その各、
1:12:47	断層単体で、単体で見たときに、端部がどこに設定されて、長さが何キロかっていうその、
1:12:57	単体での評価を確定した上で、じゃあそれが近傍にある、断層と連動するのかどうか。
1:13:05	というのが、すみません少なくとも私のロジック。
1:13:10	また私の頭の中はそういう構造になっているので、
1:13:16	ごめんなさい、500 名、500 ページ見てるんですけど 500 網アノ。
1:13:20	昨日見たんですけど、なぜここに北東たんの話が来るかが私には理解ができないんですけど、他の審査官の皆さんはどうでしょうか。
1:13:32	規制庁の海田です。よろしいですか。
1:13:40	私もちょっと同じことを考えてまして、
1:13:45	まず何ページだっけ。
1:13:48	64 ページとかの評価の流れとかを見ると、
1:13:54	まず文献調査がありました。それで何かこういった断層があります。
1:14:01	それは実際どういうふうに関係されるのかっていうのを、
1:14:05	もうちょっと次の矢印で検討していきますっていう。
1:14:10	そういう流れで見たときに、
1:14:14	115 ページ。
1:14:17	んではあれですよ
1:14:19	文献では、こういったことが書いてあります。
1:14:23	というふうなことが書いてあるんですけど。
1:14:27	今、
1:14:28	そうですね、115 で文献ではこうです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:34	だけでもそのちょっとめくっていくと思う。
1:14:37	すぐにもう
1:14:39	前ぶれもなくっていうか
1:14:41	分岐断層って言われてるところがもうなくなっちゃっててですね、要はこの文献断層ではこう言ってます。だけど、
1:14:49	要はは言ってみればさっきの 500 ページ以降みたいな検討をすると。
1:14:54	いやそこは違うんですみたいな説明があつてなので、
1:14:59	初めて 117 ページみたいな図柄が出てきて、
1:15:04	じゃあ連動は、どこの部分を見るのかっていう流れになるのかなと思って、65 ページでもまず文献があつてそれに対する、
1:15:16	事業者の評価があつてというような流れになってると思います。
1:15:21	言ってみれば要は何とか断層の端部っていうのは、まずここですっていうのを決めてから次の話に行くと思うので、
1:15:29	私もですね、やっぱりこの、
1:15:33	文献ではアノ区間用アノか。
1:15:38	分岐断層って言ってる区間っていうのは、
1:15:43	加茂三崎の一部として書いてるので、
1:15:48	そそれをまず、どういう無評価されるんだっていうのがあった上で次の話に行くのかわかりやすいします。そういったふうに、
1:15:59	フローも作ってあるので、
1:16:01	ちょっとそこはページを飛ばすがこんななんてこう、何ページに記載してるっていうよりは、そういったふうな何か流れに資料した方がわかりやすいと思うんですけれども。
1:16:17	今見るとその分岐の話っていうのはあっちこっち 3ヶ所ぐらいに分かれて出ててちょっとわかりにくいんですね何か、まとめてちゃんと書いた方がいいと思うんですけど。
1:16:27	その辺はいかがでしょうか。
1:16:36	はい。栗城です。
1:16:39	今ほどのノダさんと、海田さんの 50 人、我々、そう。その通りであると思いますので、ちょっとフローに沿った構成になっておりませんので、
1:16:51	この海士岬沖断層の北端はこの 2、
1:16:54	先ほど断層等のこの単体の説明のところに加えて、
1:16:59	評価フローに沿ってのある事業に、資料の方をしたいと思います。失礼しました。
1:17:08	規制庁の海田です配送、そうですねはい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:11	で結果としてそれがどっちのアノ断層のグループに入るかっていうのを また今後、詳しくみてはいきますけれども、まずはスタートは文献からと いうことで、資料の構成も今ちょっと、
1:17:26	おっしゃったような形で、いずれ
1:17:29	ちょっとこう直していただければと思いますので、よろしくお願いします。
1:18:01	規制庁の海田です。
1:18:03	あとこれもまた、
1:18:05	今後確認で、なので形式的なところだと思うんですけども、
1:18:11	いろいろなところにある。
1:18:14	例えば 449 ページ。
1:18:19	なんですが、
1:18:24	中身はまた別に今後なんですけど、
1:18:30	この箱書きの高モリほか何とかがこうこう、
1:18:36	で、
1:18:37	その最後に、その結果こうで寄ってというところ。
1:18:43	なんですけど、
1:18:44	これ、どこまでが森ほかの話で、
1:18:50	よってのところも含んでいるのかとか、あと次のページもそうなんですけ ど、
1:18:56	これはよってのところ
1:18:59	森岡が言ってるのかそれとも事業者なりにそれを解釈した結果なのか ってというのが、
1:19:06	ちょっとなかなか見てて、すみませんはい。すみません。はい。
1:19:12	すみません最初の何ページかがちょっと聞き取れなかったんですが。は い。そこ、そこだけ教えてもらっていいでしょうか。すみません。449 ペ ージです。
1:19:25	449 ページ。
1:19:28	わかりました。449 ページわかりました。すみませんはい。その辺は趣 旨はわかりましたので、はい。
1:19:36	その辺もちょっと今後
1:19:40	どこまでが文献でどこからが、それを踏まえた事業者の考え方というの が、わかりやすいように記載を、ちょっと
1:19:53	しておいていただければなと思います今後の話としてですね、よろしくお 願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:20:01	はい。北陸電力の野原です。わかりました我々もちょっと改めて見直しましてどこまでが文献の、
1:20:10	記載としてどこからが、我々の見解がわかるようにしっかり、
1:20:15	わかるような資料にしたいと思います。
1:20:17	以上です。
1:20:23	ノダですけど、今の海田さんから、
1:20:28	ちょっと事実確認した文献調査の中に、御社の見解が入ってるの。
1:20:35	もう1ヶ所ですねどっかあったんすねなんかバックスラストの話が出てきてるところがあつてそこも、前半は、文系の多分文献で後半にですね、
1:20:45	何かバックスラストは認められないとか、確かそんな記載がどっかにあったんでちょっとそこもですね、これだ、477 ページかな。
1:21:00	じゃなかったかな、なんか。
1:21:02	多分そうそうそう、多分 477 ページの、岡村 2007 の下の箱書きも多分前半は、岡村 2007 円の記載で、二つ目の丸が多分、
1:21:13	これ多分御社が、震源断層は推定されていないって多分書いてんじゃないかと思って、多分こういったところも、今の趣旨と同じだと思うんでちょっと
1:21:24	他はこの後ずっとそうだな、次の 478 ページもそうすね文科省他 2010、ちょっと確認いただければと思います。
1:21:36	はい北陸電力の布田です。我々としましては文献があるときには抜き資料 2 ということで、区別はしていたつもりなんですけど、こうして見ますと確かにわかりにくい。
1:21:48	ふうに見えますので、この辺また資料の適正化表現、改めていきたいと思います。
1:21:55	以上です。
1:22:01	野原さんよろしくお願ひしますノダですけど、あと私はですねもう1点、連動の評価のところどこだったっけな。これは多分、
1:22:12	みんな共通 1476 ページをちょっと例示で、
1:22:16	挙げながらですね、確認していきたいんですけど。
1:22:23	ここが海士岬沖と羽咋沖の連動の検討結果になっていて、このまず表でまとめていただいたのはこれ、見やすくいいんですけど、
1:22:36	これがですね、アプローチがアプローチがっていうか、
1:22:41	一番左が考慮する項目で、そこから検討結果ということで、こういう文献調査とか、音波探査記録とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:52	あとは既往の地震との比較とかになってるんですけど、
1:22:59	例えばですね、
1:23:05	柏崎の海域の地質地質構造、
1:23:10	これあれかな。今日いないのか。うん。必要であればURLとか送ってもいいんですけど、
1:23:20	柏崎の海域の活断層評価の時でも、時にもう断層の連動可能性評価ということで、同じようなこういう連動の検討をしていて、
1:23:30	このときは、頭入れがですね、こういう考慮する項目ではなくて、やっぱりこの基準とかガイドに沿って、調査ですね文献調査、地球物理学的調査、
1:23:44	あとは、例えば断層の活動履歴とかがあればそういったところから変位、
1:23:52	量の分布であるとか、過去の地震活動の特徴とか、こういう検討結果を求めた上で最後に総合評価っていう、そういう整理をしていて、
1:24:04	ちょっと御社とアプローチが違うんですねアプローチが違うとか逆なんですよね。調査から入って、こういう傾斜方向とか、地質構造とか重力異常とかこういうのを、
1:24:17	見えて御社逆なんです、検討する項目があつて、項目から調査ってなっているんですけど。
1:24:27	ここって、
1:24:29	何か御社の中で、検討する際に、そういう、
1:24:33	他社の好事例とかを見られたりとか、あとは、
1:24:37	その上で、こういった項目から調査、
1:24:43	東電は調査から項目、
1:24:46	逆のアプローチをしてるんですけどその点ってちょっと、どういった検討がなされて今こういう表にまとめられてるか、確認させてもらってもいいですか。
1:25:02	はい。北陸電力の野原です。
1:25:04	あと我々連動の評価としまして今ほど出てきました柏崎さんの事例ですとか、また齋藤さんの資料も見ております。
1:25:14	今回こういった表も構成にした理由としましては、前回の5月10日の審査会合時点、
1:25:24	アノときいには連動の評価をハタケで、
1:25:30	当社としまして、国の評価事業の参考にルールを設定しまして、その部分に基づいて、トレンドの評価を行っている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:39	ということで、そういった
1:25:41	ルールをしっかりと定めたということで、そういった意味でこの表の左側になります。
1:25:47	本郷の有無を判断するために考慮する項目、こういったものを重要視して、評価を行ってきたという経緯がございます。
1:25:58	そういったことで、5月12日二段階にこういった表を作ったということもありまして、
1:26:06	今回の資料も、それと同じような構成でこの表を作っております。
1:26:13	ただ
1:26:14	その5月10日の審査会合のときに、画一的なルールでは、評価するものではないと、そういったご自身のコメントもありまして、
1:26:23	今回のこのヒアリング資料からは、各断層の組み合わせ、総合的な評価を行うというふうにしておりますので、
1:26:33	その柏崎さんの例などを参考にしまして、そう言ったような構成に見直すということは、今後であります。
1:26:43	以上です。
1:26:47	野田ですけどハラさんご説明、経緯も含めてご説明ありがとうございました。
1:26:54	ちょっと多分、整理学セイリガクの問題なんで、双方メリットデメリットあると思うんですけど、私なんか
1:27:05	やっぱり、すいません、基準ガイドというのが念頭にあるんで、やっぱりこう調査からついつい頭がこう、
1:27:16	なんすかね、構成構成構成されて、そういうアプローチをそういう構成になってるんでちょっとそういうアプローチが、
1:27:26	固定概念というか、みたいになっているのと、あとは、結局476ページも、
1:27:36	断層面の傾斜方向も、
1:27:38	地質構造も、例えばその海上音波探査みたいなところは共通してるわけですよ。当たり前ですけど、断層が見えて、その断層が、どちら方向に傾斜しているのかとか、
1:27:54	もうちょっと地質構造で言えば、断層を挟んだ地質構造が、
1:28:01	海士岬沖と羽咋沖で、一緒なのか、違うのか、違うのであればどういったところが違うのかとか、多分音波探査記録をベースに、論理展開していくんだと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:15	うん。そういう時に、やっぱりここ、こういう、もちろん御社がこういった連動ルームの判断をする、考慮する項目として挙げられている、こういったところに着目するっていうのは、それはそうだと思いますし、
1:28:29	そこを変えて欲しいとは全く思っていないんですけど。
1:28:32	いずれにしても、ちょっと
1:28:36	今、
1:28:39	こういったアプローチの方しか見ていないんで、例えばこれを仮に
1:28:44	柏崎の整理に直したところで、わかりやすくなるのかならないのか、明確にちょっと私も今、わかんないんですけど、少なくとも、
1:28:54	ちょっと私の頭の構成と、ちょっと御社の資料のつくりが一致していなくて、なかなかちょっと
1:29:05	検討結果とか、そこから導き出され、出された評価結果総合的な評価結果っていうところがちょっとうまく
1:29:12	入ってこなかったんでちょっと確認させていただいたんですけど、いずれにしても、31日のヒアリングは、これで
1:29:24	これ、これをベースにですね確認させていただければと思うんですけど、ちょっと御社の中でも、柏崎見られてるっていうことですので、ご検討いただいて、
1:29:38	変更するしないは、多分、ご説明の仕方っていうのもあると思うんで、ちょっとご検討いただければと思います。
1:29:48	はい。私はそんなところですけど何かこの辺のら連動の検討結果のところとか、他の審査官の皆さんは何か、
1:30:00	で大丈夫でしょうか。
1:30:02	お願いします。
1:30:05	はい。
1:30:05	江藤 476 ページを初めとしましてこういった断層のまとめ方の表につきましてですが、
1:30:13	梅村さんの趣旨我々も十分よくわかりますので、
1:30:18	そのガイドに沿ったアプローチといいますか、調査がまずあってそこからどういったデータがえられて、どういった評価ができるのか。
1:30:28	そういったへん柏崎議員さんのような、鴛田から、表の見直しにつきまして修正する。
1:30:37	ことも含めまして検討していきたいと。
1:30:40	いうふうに思います。
1:30:42	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:45	ノダですけど。ありがとうございます。ちなみに、
1:30:51	でもいいのかなあ。
1:30:55	そうですね。476 ページで言うと、
1:31:00	まあしょうがないとかこういう構成だから、何か私なんかは、断層面の傾斜方向のところ、例えば北海道南西沖地震との比較が、
1:31:10	もう入ってきてしまうんですけど、
1:31:15	これって、ちょっと多分、文献調査とか海上音波探査記録とは、
1:31:21	私なんかちょっと位置付けがまた違うんじゃないかなとか、
1:31:27	その辺はあれですかね 31 期のヒアリングのときにまた、事実確認しながら、お伝えしたいと思います。私的には、
1:31:38	こんな整理じゃないかなっていうのは、あるんですけど、そういったところをベースにヒアリングで事実確認させていただければと思います。とりあえず私からはそうですね。大きく、
1:31:49	さっきの海士岬沖の北端のところ北端ところ等へ、この連動の検討結果ですかね、ちょっと例示的にお伝えしたんですけどちょっとその 2 点で、事前に、
1:32:02	事実確認させていただければと思ったんで、私からは以上です。ありがとうございました。
1:32:09	はい。北陸電力の野原です。
1:32:12	今ほど言われました例えば北海道野瀬沖地震との比較というものを我々、
1:32:19	経営者の方に含めておりますが、これも、
1:32:22	ルール遵守の考えに基づきまして、こういった資料構成にして
1:32:30	現状しております。
1:32:31	その柏崎さん参考に資料を見直す際に、
1:32:36	見直した際にはただおっしゃる通り、こういった
1:32:40	実施の事例というのは、文献調査、
1:32:43	の方に入るのかなというふうにも我々も認識しておりますので、
1:32:48	そこをまた見直す際に、改めて検討していきたいと思います。
1:32:53	以上です。
1:33:30	はい。規制庁の大井です。海域の断層のか、確認についてもですね。以上となります。
1:33:38	北陸電力の方からのすず、何かございますでしょうか。
1:33:47	北陸電力藤田です。海域の資料の方も含めて確認ありがとうございました。弊社の方から、今日の議論を踏まえてまた資料の修正、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:57	作業、またしっかりやっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。弊社の方特にございません。
1:34:03	はい。それでは解禁については次回ヒアリングでまたよろしくお願いいたします。
1:34:10	そして、そうですね。
1:34:12	これ以上なので面談は北陸電力との面談はこれで終了いたします。
1:34:18	お疲れ様でした。
1:34:21	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。